



嗜好品を思考する

「嗜好品」はあなたにとってどんな存在ですか？

リラックスさせてくれるもの。

がんばった自分へのご褒美。

なくても生きていけるけど、あるとうれしいもの。

「嗜好品」に求める価値は人によって様々です。

そして、その捉え方は時代と共に変化してきました。

一方で、私たちが「嗜好品」と向き合うとき、

自分に「快適さ・おいしさ・楽しさ」をもたらすものを

こだわって「選択する」という点は、

共通して生まれる行動なのかもしれません。

本誌では、

「こだわりのシーンで選択される商品を生み出したい」と

励む開発者たちの視点を通じて、

「嗜好品」が私たちにどのような効果をもたらすし、

毎日の生活に寄り添っているのかを見つめ直していきます。

「おいしい」の裏側にある、商品（モノ）の中心（コア）を

紹介するアサヒグループの技術広報誌「monocore（モノコア）」。

今回は、「嗜好品」をテーマに、おいしさを支える

技術や研究成果をお伝え致します。



心や体が「嗜好品」を求めるとき、脳内にはどんなものが浮かびますか？甘いもの、しょっぱいもの、冷たいビールや果汁100%のジュース……。様々な選択肢が溢れる世の中で、「嗜好品」の捉え方は常に変化しています。そしてこれからも、自分の嗜好や趣味に従い「選択する」とき、あらゆるものが「嗜好品」になりうるのかもしれませんが。